

これまでに胃癌に対するロボット支援下手術を受けた患者さんへ  
【過去の治療データ/検体等の調査研究への使用について】

神戸市立医療センター西市民病院 外科では<ロボット支援下胃切除術導入の安全性に関する研究>という臨床研究を行っています。

この研究は、日常臨床において、胃癌に対するロボット支援下胃切除の安全性を評価し、導入当初の手術時間や術後合併症発生のパターンを明らかにすることを目的としています。

そのため、2017年1月1日から2019年10月31日までに病理診断がなされた原発性胃癌に対してロボット支援下胃癌手術を受けた患者さんの<各種術前、術中、術後観察項目、転帰に関するデータ>を使用させていただきます。

○対象となる期間・収集期間

調査対象期間	西暦2017年1月1日から西暦2019年10月31日
データ収集期間	臨床研究審査委員会承認後から2021年12月31日まで

○調査研究の対象

これまでに原発性胃癌と診断され、根治を目的としたロボット支援下胃癌手術を受けた患者さんの<各種術前、術中、術後観察項目、転帰に関するデータ>といった、過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。

○個人情報の取り扱い

使用するデータは個人が特定されないよう、匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。また、研究成果は学会や科学専門誌などの発表に利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることなく、個人情報は守られます。

○利用の範囲

神戸市立医療センター西市民病院 外科  
<共同研究機関> 京都大学消化管外科

○本研究の利益相反について

この調査研究は、神戸市立医療センター西市民病院 外科の研究費で行っており、特定の企業・団体からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合は、西暦2021年12月31日までにお手数ですが、下記の問い合わせ先まで連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

神戸市立医療センター西市民病院 外科  
研究責任者：姜貴嗣 / 連絡担当者：姜貴嗣  
TEL：078-576-5251（代）